

【いまどき夫婦の実態調査】
若者夫婦が圧倒的にラブラブ傾向、逆に中年夫婦は「気遣い」重視!?
夫婦間の不変要素は「価値観」だった!

株式会社ジーユーエヌは、全国の20～60代の既婚男女500人に、夫婦の実態調査を実施しました。その結果、20～30代の9割以上(90.5%)が「配偶者を愛している」一方で、40～60代は77.0%にとどまり、同様に20～30代の7割以上(71.0%)が「配偶者に甘えたい」一方で、40～60代は50.3%にとどまることから、若い世代の方が配偶者を愛しており、また甘えたがりであることが明らかになりました。しかし、20～30代の約半数(48.0%)が「甘え下手」と認識し、4割ほど(36.0%)が実際に「甘えていない」こともわかりました。

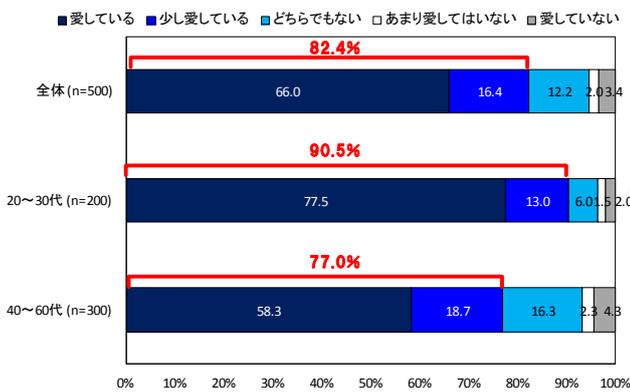
また夫婦間の「時間のあり方」でも世代差があり、20～30代の若い世代の方が「一緒にいる時間」や「会話時間」を「増やしたい」と考えていることがわかりました。(前者20～30代:37.0%、40～60代:16.3% 後者20～30代:42.5%、40～60代:19.3%) 加えて「二人の時間を何よりも大事にしている」は20～30代が77.5%、40～60代が62.7%、また「配偶者の趣味などを尊重し、個人の時間を大切にしている」は20～30代が77.0%、40～60代が84.4%と、若い世代ほど「一緒にいる二人の時間」を大切に、世代が上がると配偶者を気遣いながら程良い距離で接していることがわかりました。

夫婦間の「趣味」、「波長」、「性格」、「会話」にも世代差がある一方で「価値観」に関しては差がほとんどなく、「価値観」は年を重ねても不変であることが明らかになりました。また、夫婦間で「一緒に行くこと」と「今後一緒に行きたいこと」を比べたところ、「運動をする」が今後で9ポイント増加し、今後のお互いの健康を気遣う姿勢が伺えました。

若者夫婦が中年夫婦と比べてラブラブ傾向にある一方で、年上夫婦は配偶者への「愛」とは違った「気遣い」へ変化しているのかもしれない。

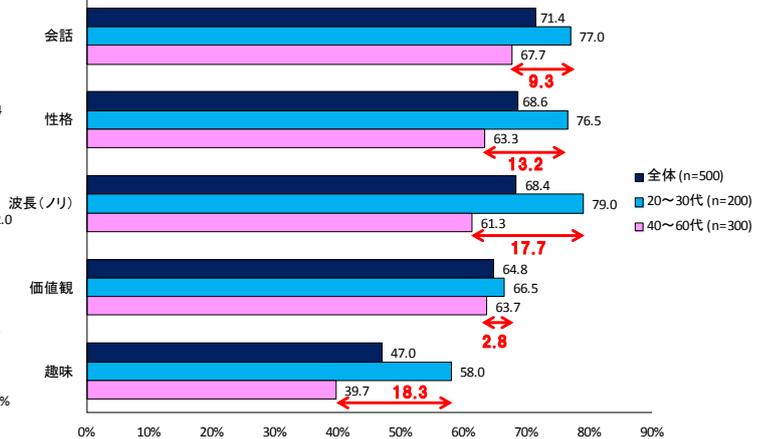
配偶者を愛している

【全体、20～30代、40～60代】



夫婦間で「合う」と思うもの
「性格」「趣味」「価値観」「会話」「波長(ノリ)】

【全体、20～30代、40～60代】



調査トピックス

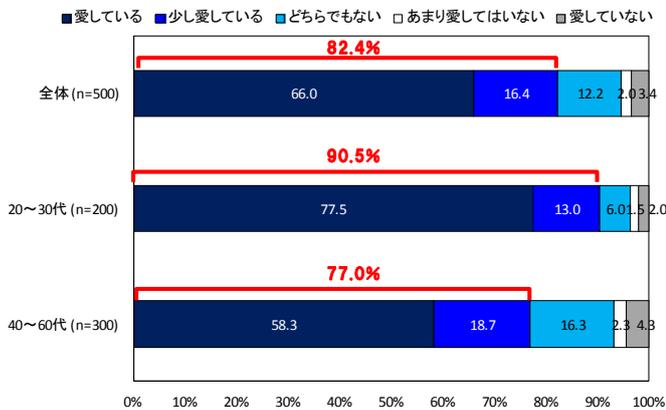
- ① 配偶者をより「愛し」「甘えたい」のは“若者世代”…………… P2
- ② 甘えたがりな“若者世代”の半数以上が「甘え下手」と自覚あり…………… P2
- ③ “若者世代”の約半数が月に1回の夫婦喧嘩、仲直りは男性から…………… P3
- ④ “若者世代”は配偶者と「一緒にいる時間」「会話時間」を増やしたい…………… P4
- ⑤ “若者世代”は「二人の時間」を大切に!“中年世代”は「個人の時間」を尊重!…………… P4
- ⑥ 年を重ねても変わらない夫婦の「価値観」…………… P5
- ⑦ 「一緒に運動」で今後のお互いの健康を気遣う夫婦の絆…………… P5

① 配偶者をより「愛し」「甘えたい」のは“若者世代”

『配偶者を愛しているか』と聞いたところ、「愛している」「少し愛している」は全体で 82.4%、20代～30代の若い世代（以下“若者世代”と表記）で 90.5%、40代～60代の世代（以下“中年世代”と表記）で 77.0% となり、“若者世代”の方が“中年世代”よりも 14 ポイント高い結果となりました。また、『配偶者に甘えたいか』と聞いたところ、「そう思う」「ややそう思う」は全体で 58.6%、“若者世代”で 71.0%、“中年世代”で 50.3% となり、“若者世代”が“中年世代”を 21 ポイント高い結果となりました。

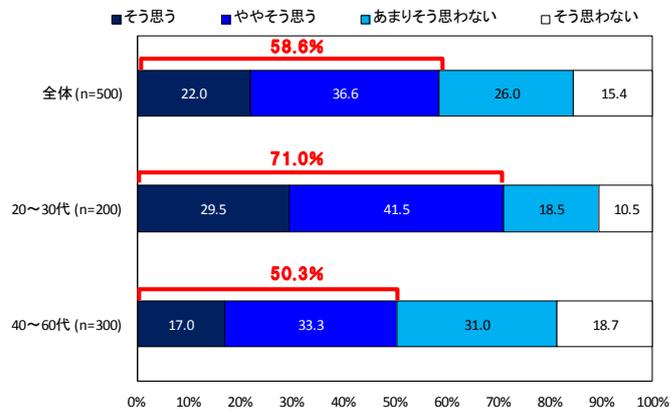
Q. あなたは配偶者を愛していますか？ (SA)

【全体、20～30代、40～60代】



Q. あなたは配偶者に対して甘えたいと思っていますか？ (SA)

【全体、20～30代、40～60代】



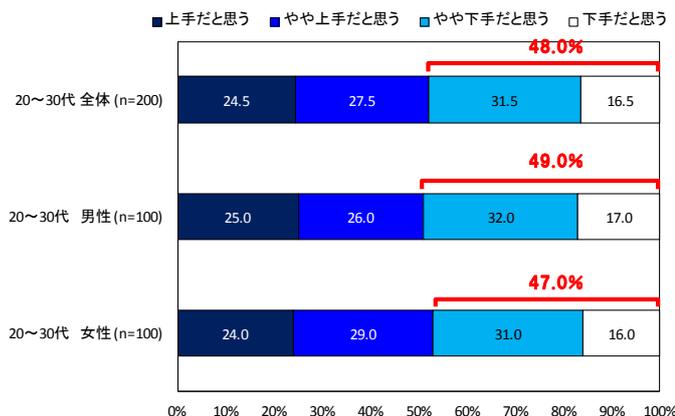
② 甘えたがりな“若者世代”の半数以上が「甘え下手」と自覚あり

甘えたがりな“若者世代”に対し『甘え上手だと思うか』聞いたところ、「下手だと思う」「やや下手だと思う」が“若者世代”全体で 48.0%と約半数が「甘え下手」と認識していることがわかりました。同様に“若者世代”に対し『普段甘えているか』聞いたところ、「そう思わない」「あまりそう思わない」が“若者世代”全体で 36.0%と約 3人に1人が「普段甘えていない」ことがわかりました。“若者世代”の“甘えたいのに甘え下手で甘えられない”様子が伺えます。

Q. あなたは甘え上手だと思いますか？ (SA)

【全体、男女別】

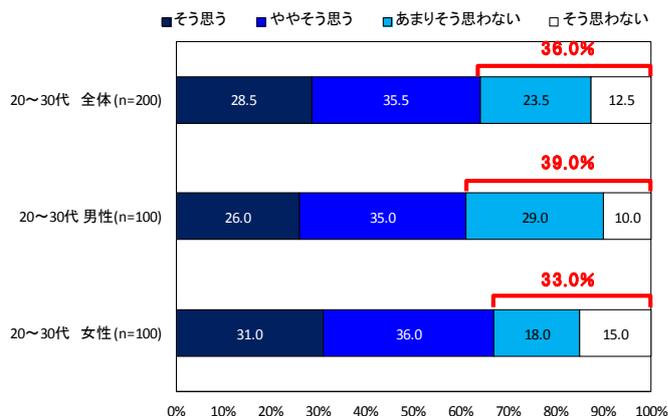
※「20～30代」対象



Q. あなたは普段配偶者に対して甘えていますか？ (SA)

【全体、男女別】

※「20～30代」対象

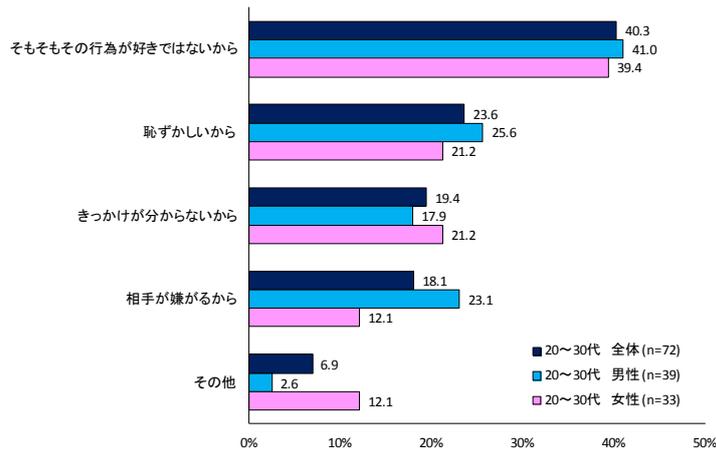


また、「普段甘えていない」と回答した“若者世代”に『甘えてない理由』について聞いたところ、全体で「そもそもその行為が好きではない (40.3%)」が最も高く、『恥ずかしいから (23.6%)』『きっかけがわからない (19.4%)』がこれに次ぐことがわかりました。

Q. あなたが甘えていない理由をすべて教えてください。(MA)

【全体、男女別】

※「配偶者に甘えていない」と回答した対象者



③ “若者世代”の約半数が月に1回の夫婦喧嘩、仲直りは男性から

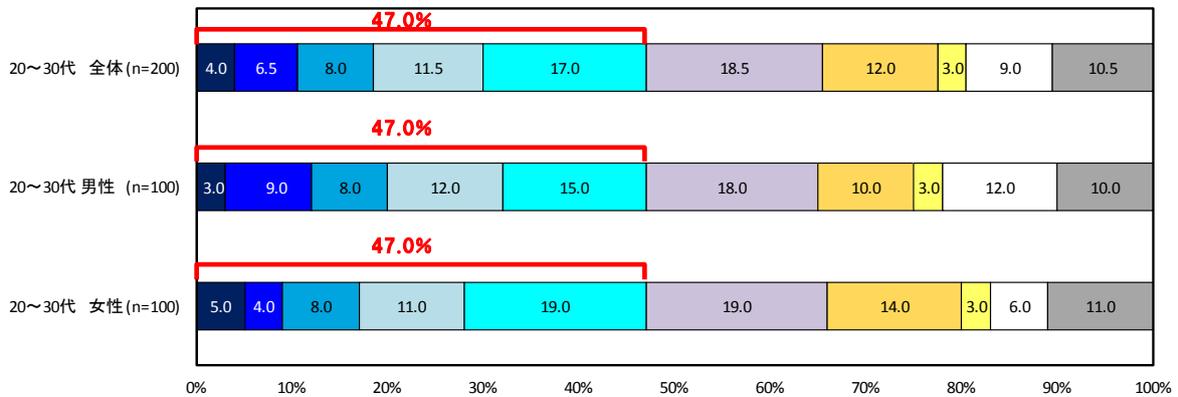
甘えたりな“若者世代”に『夫婦喧嘩の頻度』について聞いたところ、「1ヶ月に1回以上喧嘩している」が全体で47.0%と約半数いることがわかりました。また『喧嘩の後どちらから謝るか』を聞いたところ、「自分から」が男性で72.2%、女性で46.1%と男性が女性を大きく上回り、仲直りのきっかけは男性が作っていることがわかりました。

Q. 夫婦喧嘩の頻度を教えてください。(MA)

【全体、男女別】

※「20~30代」対象

■ ほぼ毎日 ■ 週2回以上 ■ 週1回程度 ■ 2週間に1回程度 ■ 1ヶ月に1回程度
 □ 2~3ヶ月に1回程度 □ 半年に1回程度 □ 1年に1回程度 □ 1年に1回未満 □ したことがない

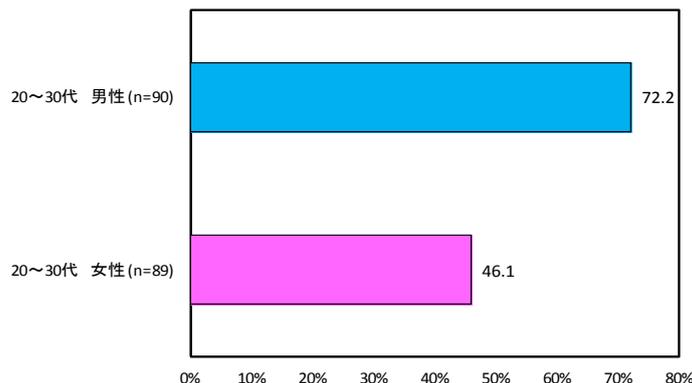


Q. 喧嘩をした後仲直りをするのはどちらからが多いですか？(SA)

【男女別】

※「20~30代」の夫婦喧嘩経験者
 ※「自分から」の回答

■ 20~30代 男性 (n=90) ■ 20~30代 女性 (n=89)



④ “若者世代”は配偶者と「一緒にいる時間」「会話時間」を増やしたい

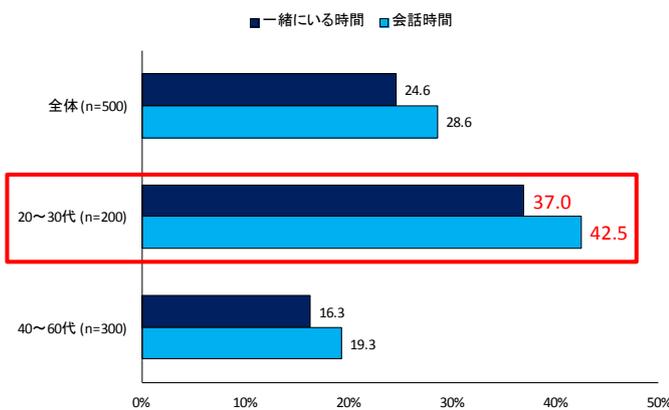
『配偶者と一緒にいる時間を増やしたいか』聞いたところ、「もっと増やしたい」「もう少し増やしたい」は全体で 24.6%、“若者世代”で 37.0%、“中年世代”で 16.3%となり、“若者世代”が“中年世代”よりも 21 ポイント上回りました。同様に『配偶者との会話時間を増やしたいか』聞いたところ、「もっと増やしたい」「もう少し増やしたい」は全体で 28.6%、“若者世代”で 42.5%、“中年世代”19.3%となりこちらも“若者世代”が“中年世代”を 23 ポイント上回ることがわかりました。

また“若者世代”の男女差を見てみると『一緒にいる時間』は男性で 38.0%、女性で 36.0%と、男女差なく『一緒にいる時間』を増やしたいと感じている一方、『会話時間』は女性で 46.0%と男性（39.0%）を 7 ポイント上回ることがわかりました。

Q. あなたは配偶者と「一緒にいる時間」と「会話の時間」をもっと増やしたいと思っていますか？（項目別 SA）

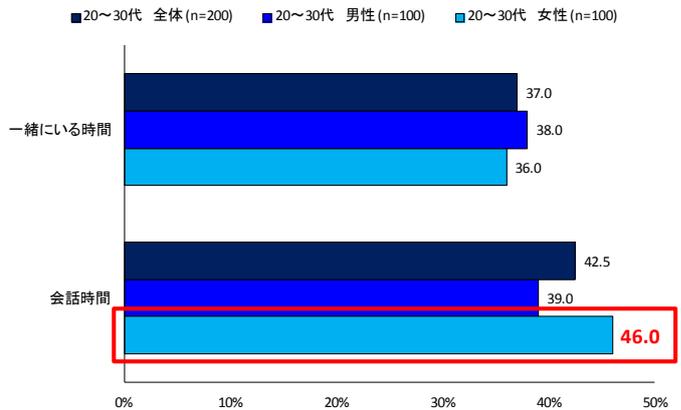
※5段階評価の「もっと増やしたい」「もう少し増やしたい」の合計

【全体、20～30代、40～60代】



【全体、男女別】

※「20～30代」の対象者



⑤ “若者世代”は「二人の時間」を大切に！“中年世代”は「個人の時間」を尊重！

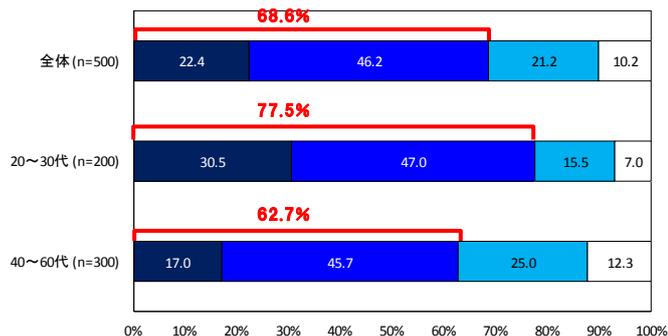
『2人で過ごす時間を大切にしているか』聞いたところ、「そう思う」「ややそう思う」は全体で 68.6%、“若者世代”で 77.5%、“中年世代”で 62.7%と、“若者世代”の方が“中年世代”よりも 2人で過ごす時間を大切にしていることがわかりました。一方で『配偶者の趣味などを尊重し、個人の時間を大切にしているか』聞いたところ、「そう思う」「ややそう思う」は全体で 81.4%、“若者世代”で 77.0%、“中年世代”で 84.4%と、“若者世代”は「一緒にいる二人の時間」を大切に、“中年世代”は配偶者を気遣いながら程良い距離で接していることがわかりました。年代が上がることで配偶者との「時間のあり方」が変化することが伺えます。

Q. あなたが夫婦生活を送る上で近いものについて教えてください。（項目別 SA）

【全体、20～30代、40～60代】

【2人で過ごす時間をなにより大切にしている】

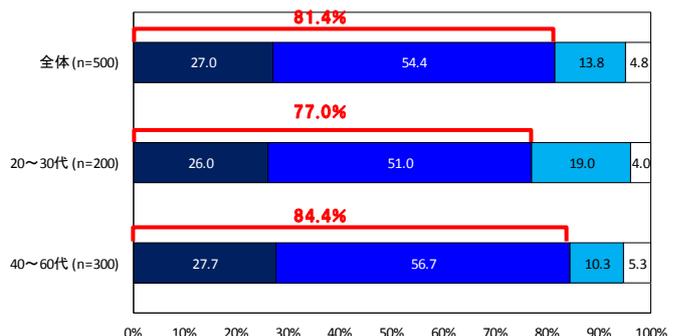
■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない □ そう思わない



【全体、20～30代、40～60代】

【配偶者の趣味などを尊重し、個人の時間を大切にしている】

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない □ そう思わない



⑥年を重ねても変わらない夫婦の「価値観」

『夫婦間で“合う”もの』について5項目を聞いたところ、「合う」「やや合う」は「会話」が全体で71.4%と最も高く、「性格」が68.6%、「波長（ノリ）」が68.4%でこれに次いでいます。全項目において“若者世代”の方が“中年世代”よりも高く、年代が上がると夫婦間で“合う”と感じにくくなっていることが伺えます。

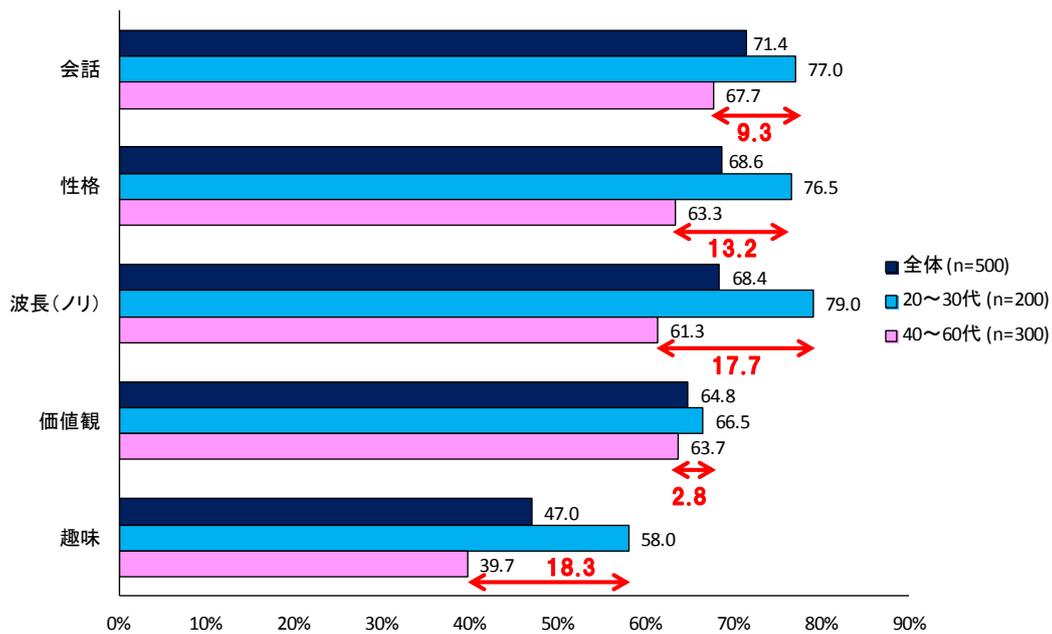
世代間を比較すると「趣味」は“若者世代”で58.0%、“中年世代”で39.7%と18ポイントの差が、「波長（ノリ）」は“若者世代”で79.0%、“中年世代”で61.3%と18ポイントの差がある一方で「価値観」は“若者世代”で66.5%、“中年世代”で63.7%と世代差がほとんど無く、「価値観」は年を重ねても不変であることが明らかになりました。

Q. あなたが夫婦間で「合う」と思うものを教えてください。(項目別 SA)

項目：「性格」「趣味」「価値観」「会話」「波長（ノリ）」

※4段階評価の「合う」「やや合う」の合計

【全体、20～30代、40～60代】



⑦「一緒に運動」で今後のお互いの健康を気遣う夫婦の絆

『配偶者と一緒に行くこと』を聞いたところ、全体で「食事をする」が87.0%で最も高く、「買い物をする」が66.8%、「テレビ・DVDを見る」が66.0%でこれに次いでいます。「帰省をする（45.6%）」「お酒を飲む（41.6%）」等も4割を越えており、逆に「お風呂に入る」は21.6%にとどまっています。

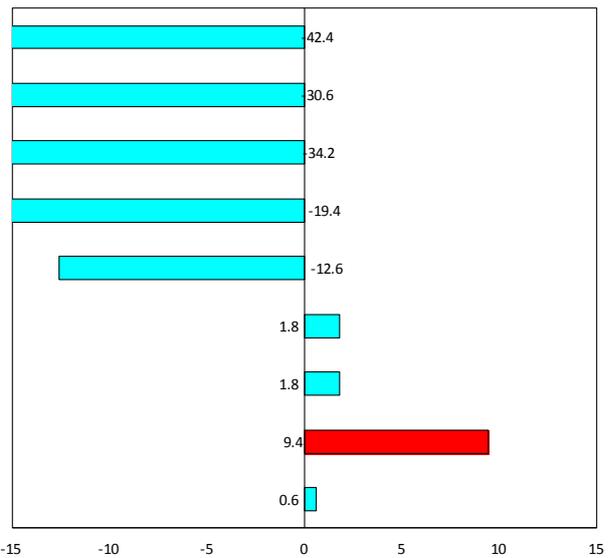
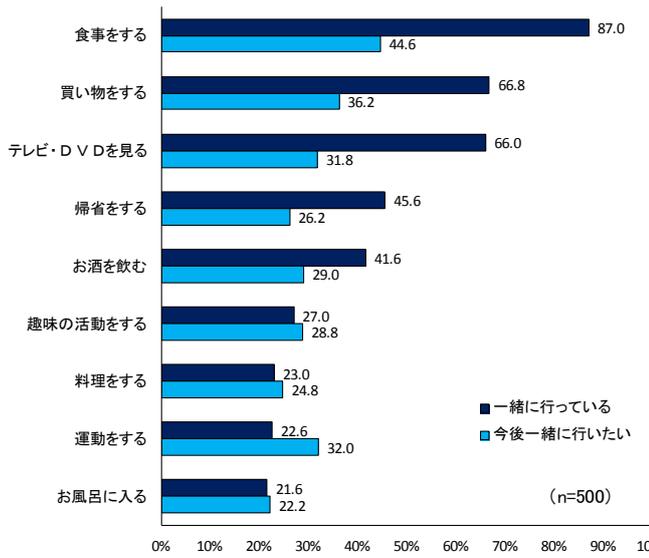
同様に『今後配偶者と一緒に行きたいこと』を聞いたところ、全体で「食事をする」が44.6%で最も高く、「買い物をする」が36.2%でこれに次ぎます。また「一緒に行っていること」の中で2番目に低かった「運動をする」が「今後一緒に行きたいこと」では32.0%で3番目に高くなることがわかりました。

「趣味の活動をする」「料理をする」「運動をする」「お風呂に入る」の項目は「一緒に行っている」よりも「今後一緒に行きたい」が高くなっており、特に「運動する」が9ポイントと他に比べ差が大きく、現状としては行えていないが、今後一緒に行きたいと思っていることがわかり、今後のお互いの健康を気遣う姿勢が伺えました。

Q. 普段あなたが配偶者と「一緒に行くこと」はありますか？また今後「一緒に行きたい」ですか？（項目別 MA）

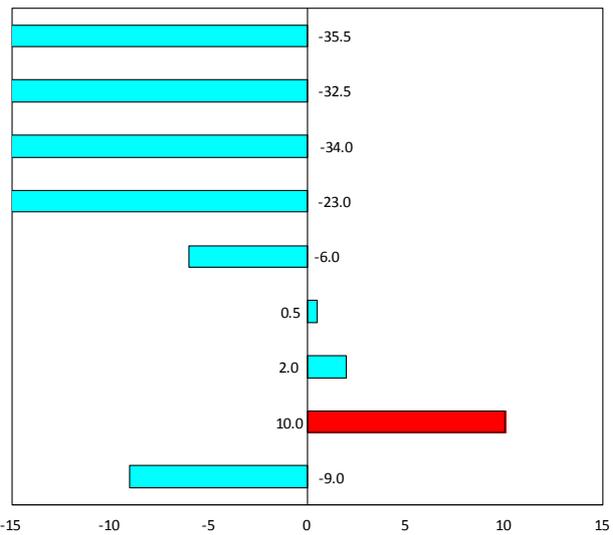
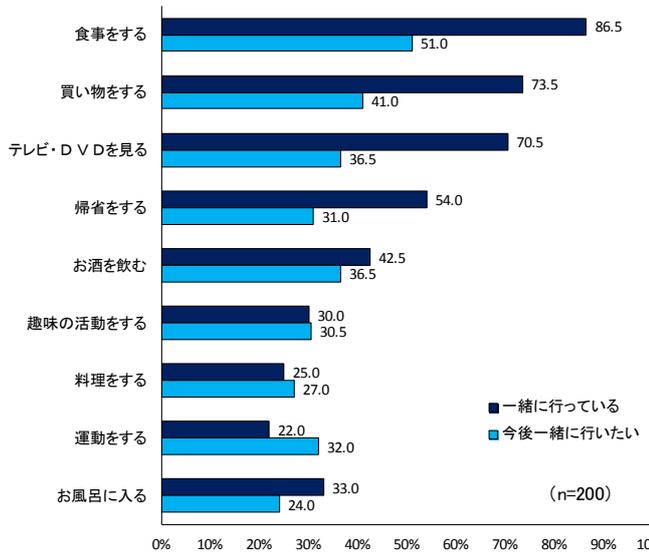
【全体】

【「今後一緒に行きたいこと」と「一緒に行っていること」の差分】



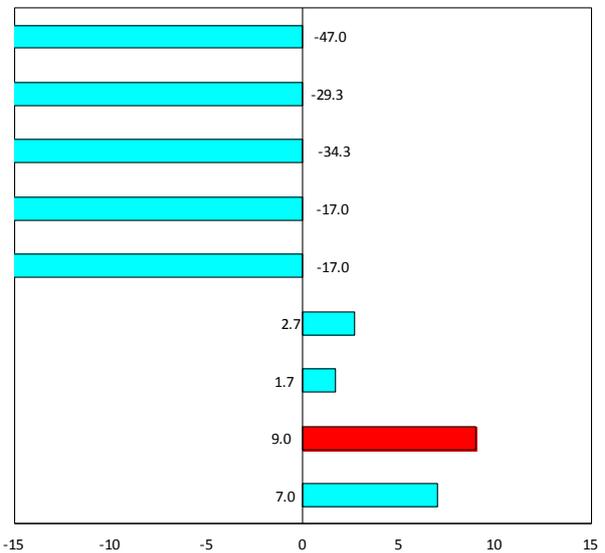
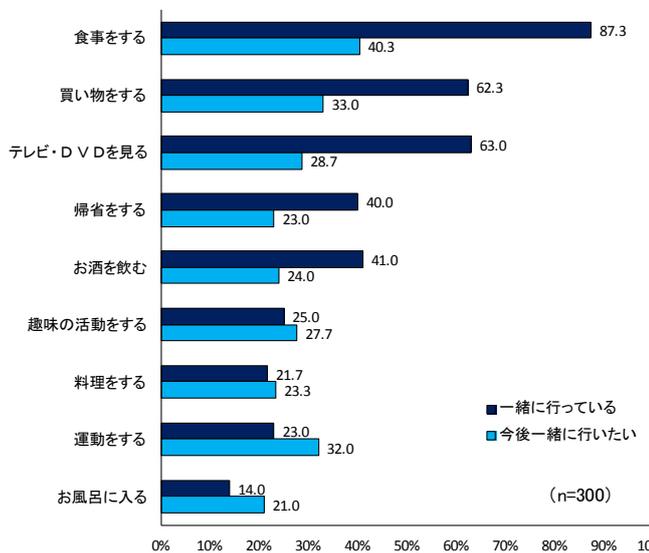
【20～30代】

【「今後一緒に行きたいこと」と「一緒に行っていること」の差分】



【40～60代】

【「今後一緒に行きたいこと」と「一緒に行っていること」の差分】



今回の調査を受けて、“若者世代”は“中年世代”に比べ配偶者を愛し、甘えたいと思っていることが明らかになりました。同様に夫婦間の「趣味」、「波長」、「性格」、「会話」にも“若者世代”と“中年世代”の世代差がある一方で「価値観」に関しては差がほとんどなく、「価値観」は年を重ねても不変であることが明らかになりました。また、夫婦間で「一緒に行くこと」と「今後一緒に行きたいこと」比べることで、今後のお互いの健康を気遣う姿勢が伺えました。

<調査概要> 調査方法：インターネット調査
調査期間：2016年3月18日（金）～21日（月）
調査対象：20代、30代、40代、50代、60代
配偶者と同居している既婚男女 各50名 計500名

【本件に関する問い合わせ】

株式会社ジーユーエヌ 広報事務局

TEL：03-3403-2120 / email：pr@zun.co.jp